

アメリカ留学体験レポート

国際学部 2年 富樫樹

1. はじめに

正直なところ、個人的にはアメリカどころか海外にすら行くことはない、というか行きたくない、と考えていました。理由は単純、東京にすら恐怖を覚える自分自身がどうして海外に行けるのかと。結局のところ、両親からの強い推しに負けて、「当たって砕けろ」の精神のもと、語学力向上を目標に今回の派遣留学への参加を決意しました。

2. アメリカでの生活

キャンパス内にある学生寮に滞在したのですが、一部屋に二人かつ、浴室が隣の部屋の人たちと共用であるというのは、慣れるのに時間がかかりました。洗濯機はコインランドリーのような形式で、洗濯しようとしても洗濯機全てが使用中ということがよくありました。特に週末。という訳で、洗濯は3~4日に一回の頻度でしていました。

休日や授業前、授業後にはキャンパス内にあるスターバックスで目覚まし用のアイスコーヒーや北米限定の「モカクッキークランブルフラペチーノ」をよく注文していました。

また、週に一回「Walmart」というアメリカにおけるスーパーみたいなところへの無料の送迎バスが用意されており、生活必需品を購入するためによく利用していました。ちなみに、初めて「Walmart」を訪れた時、店舗の規模に驚いたのがアメリカにおける最初のカルチャーショックになるうとは思いませんでした。

3. 授業について

1コマは110分ですが、そのうちの10分は休憩時間です。授業は月曜から金曜までであり、午前の授業は月水、火木で共通しています。午後は違う授業になっていました。また、私が所属していたクラスには我々日本人以外に、韓国やブラジルなどからきた留学生達も在籍していました。ただ、授業が始まって間もない頃は彼らの英語を聞き取ることや、自分の考えを正確に伝えるのに相当苦労しました。前期が終わる頃には多少マシになり、帰国目前には意思疎通に特に支障がない位には改善されていた、と思います。

前期後期の期末それぞれに勿論、試験や課題を課されていたのですが、エッセイやプレゼンテーションが出されたときはそれらの準備のことを考える度に胃が潰れそうだったので、どちらか一方でもなるべくはやく片付けるべきだったと思います。

4. 課外活動について

留学期間中に何度か、我々が参加したELI(English Language Institute)では、ELIに所

属している先生方や生徒でカンザスシティへ野球の試合観戦や美術館、ショッピングに行く機会があったり、ハロウィンの時は先生方も生徒も仮装をしてハロウィンパーティーが催されたりするなど、様々なイベントが用意されていました。これらの企画はアメリカの文化を知るうえで有意義なものだったと思います。特にハロウィンパーティー。自分達で、パーティー内で遊ぶミニゲームを企画することになるろうとは。そして、ハロウィンパーティーで人気のゲームの一つが輪投げであることに驚いたのは、いい思い出。

5. 終わりに

今回の派遣留学に不安を抱きながら参加してみて、自身の語学力はこのレポートを作成している期間中に届いた TOEIC の結果から、留学以前よりも伸びていると自信をもって言えます。今後は TOEIC 以外にも、英検や観光英検などの語学力試験に積極的に臨んでいきたいと考えています。そして、今回の結果をもたらす切掛けを与えてくれた国際情報大学の先生方、及び腰になっていた私の背中を押すどころか、思いっきりたたき上げてくれた両親、現地でお世話になった先生方や友人達、出会った人たち全員に感謝しています。

最後に、留学を考えている皆さんへ。アメリカの日常会話で頻繁に使われる表現は事前に調べておいて、覚えておくことをおすすめします。留学中、英語で会話をしている時に何度か「この場合の表現を知っていれば」と思うことがあったので。